

再犯防止計画についてのアンケート 結果報告書

令和7年（2025年）2月

日 進 市

I 調査概要について

(1) 調査目的

本調査は、再犯防止の推進に関して、日頃更生保護に携わる関係者の意見を把握し、令和7年度に策定する日進市再犯防止推進計画に反映させるための基礎資料とする目的で実施しました。

(2) 調査期間

令和7年1月6日から令和7年1月10日まで

(3) 調査対象者

愛知保護区保護司会日進部会 保護司
日進市更生保護女性会 会員

(4) 調査方法

アンケート用紙を配布・回収

(5) 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
21	19	19	90.5%

2 調査結果について

【問1】 保護司、更生保護女性会として活動している年数を教えてください。

区分	回答数
0～5年未満	9
5年以上～10年未満	6
10年以上	4

【問2】 これまでに保護司、更生保護女性会として活動していて困ったことはありますか。

区分	回答数
ある	5
ない	13
無回答	1

【問3】 【問2】で「ある」を選択された方にお尋ねします。具体的に困ったことは何ですか。

自由記述
面接の日程調整
対象者が呼び出しに応じない
対象者の事由が一人一人異なり、対応をしっかり学習する必要があること
更女（更生保護女性会）間の考え方の違い
会の在り方、会員の意識

またその際に相談した人、関係機関等がありますか。ある場合は具体的に相談先を教えてください。

自由記述	回答数
事務局	2
名古屋保護観察所	1
先輩	1
なし	1

【問4】 犯罪や非行をした人が再犯に至ってしまう主な理由は何だと思われますか。
（自由記述の回答を区分ごとに集計）

区分	回答数
社会の受入環境が整っていない	8
心の弱さ、自己管理能力の欠如	8
職に就くのが困難	6
家庭環境が整っていない	5
望ましくない交友関係	4
居住先の確保が困難	2
貧困、経済的困難	2
相談相手がいない	2
生活基盤ができていない	1

【問5】 再犯防止に向けて市が取り組むべきだと思う内容をすべて選択してください。

区分	回答数
地域の関係機関との連携	16
更生保護について市民への広報・周知	13
薬物乱用防止に向けた取り組み	9
犯罪をした人の人権についての啓発	9
社会を明るくする運動の実施	6
その他	4

その他（自由記述）
住居、仕事、福祉
小学生からの教育に織り込む
雇用主にさらに多く協力してもらう
就職先（受入先）の受入体制。社会人ならこのくらい出来て（理解して）当たり前という発言や態度の改善。対象者への理解、対応の仕方を事前に伝えておく。対象者には、具体的なケースワーク・相談機関の紹介。

【問6】どのような地域の関係機関と連携が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。

区分	回答数
日進市市民協働課（更生保護担当）	12
日進市地域福祉課（福祉担当）	12
愛知警察署	12
市内小中学校	10
日進市防災交通課（防犯担当）	9
市内高校、大学	8
地域の派出所	8
区・自治会長	6
福祉・医療・介護関連の民間企業	6
日進市社会福祉協議会	5
日進市学校教育課（教育担当）	2
日進市（全ての部署）	2
日進市産業振興課（企業担当）	1
その他	4

その他（自由記述）
個々のケースに合った専門機関
対象者が該当する機関
民間企業への雇用啓発
住民が必要とするものと同じ

【問7】関係機関との連携を希望される方にお聞きます。関係機関との意見交換会を希望されますか。

区分	回答数
希望する	13
希望しない	5
無回答	1

希望する機関（自由記述）	回答数
日進市地域福祉課（福祉担当）	2
小中学校、高校	2
大学	2
警察	2
日進市市民協働課（更生保護担当）	1
日進市社会福祉協議会	1
警備会社	1
ハローワーク	1
受け入れ可能な民間企業	1
社会福祉団体	1
医療関係	1
すべての関係機関	1

【問8】保護司、更生保護女性会の活動を市民へ啓発する機会として、イベント等で団体としての参加を希望されますか。

区分	回答数
更に色々な機会でも啓発していきたい	9
現状のままでよい	6
わからない	4

【問9】現在保護司や更生保護女性会の活動について職員や関係機関に紹介する機会を設けていませんが、今後研修会などで講師をお願いすることがあった場合にはご協力頂くことは可能ですか。

区分	回答数
協力できる	13
協力できない	5
無回答	1

【問10】 再犯防止に関してご意見がありましたら、記述をお願いします。

自由記述
再犯防止に特化したものを策定してほしい。
前科のある人がもっと気軽に相談や談話できたりする場所があるといいと思います。
更生を支える温かい国。失敗は誰にでもある。
家庭環境の改善の家族支援。自立できる環境を整える。
対象者が困ったり、悩んだりしたことを気軽に話せる、そしてアドバイスできる機関（保護観察を終えた後）
なるべく早く職につかせる。
地域社会で環境を整備していく。
家庭に居場所がないこと。出所した後まわりや社会が対象者をサポートできていないこと。
社会から受け入れられないことが大きいと思う。
協力雇用主があまりに少ない。市として民間団体に雇用促進を行っていただきたい。
犯罪は自分や家族なども犯してしまう可能性がある身近なものとの認識が必要。更生保護の視点は人として生きていく様々な「自分事」と同じであるという啓発活動が必要。
社会の構造の伝達や相談しやすい窓口、判断基準を伝える方法などが仕事や作業により関わる環境があることが、前を向いて生活していけることにつながると思う。多くの人との関わりが大切だと思う。そんな施設、事業所、場所を一緒に作っていることも必要だと思う。受け身で考えるのではなく、共に考える重要性を伝えて欲しい。
更生保護女性会など、更生への啓発する会員が増え、少しずつでも周知できればと思います。

再犯防止計画についてのアンケート結果報告書
令和 7 年(2025年)2月

日進市 市民協働課